

特定非営利活動法人

キャンヘルプタイランド会報

2020年度(法人6期)

ネットワーク通信 Vol.90 合併号

Newsletter Vol.6

会員の皆様、ドナーの皆さま、2020年度もキャンヘルプタイランドの活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。世界中が新型コロナウイルスに揺れた2020年は、タイもまたコロナに始まり、コロナに終わった1年でした。こんな状況の中、子供たちの教育支援に支援の手を差し伸べてくださったことに、改めて感謝申し上げます。

日本でも新型コロナウイルス感染に広がりに伴う経済損失、学校へ行けなくなった子供たちの心理的なストレス等の問題が取りざたされていますが、感染拡大の抑制にある程度成功したと思われるタイも状況は大きく変わりません。特に、世界的な観光地を数多く有する観光立国であるタイの観光宿泊業への打撃は、感染抑制策が強力であったこともあって、甚大です。外国人の入国制限がいつ解除されるかもわからない状況が続くことを考えると、外国人観光客に依存してきた多くのビジネスが崩壊していくような気がして心配でなりません。観光業に限らず、在宅勤務が強力に進められ、人の動きが変わったことにより、多くの業種がコロナ禍に喘いでいます。

子どもたちの教育環境も大きく影響を受けました。2020年は約3カ月間教育機関が閉鎖され、オンライン授業が実施されましたが、立ち上げ当初はトラブルが頻発し、軌道に乗ったあとインターネット環境が貧弱で、取り残されてしまった子供たちも少なくないと言います。日本でも問題になっているように学校に通えないことによるストレスの問題、また貧困地帯では学校給食が食べられなくなったことによる子供たちの栄養不足も問題化しているとのことです。

キャンヘルプタイランドでは、長年顔の見える支援を旨とし、子供たち、学校の先生たちに直接会って、支援金を手渡しするという形で支援を行ってきましたが、2020年は残念ながら、送金だけの支援となってしまいました。本年度は、子供たちがコロナ禍においてどのような影響を受けているのかを調査し、今後どのような支援が必要とされているのか、支援の形は今ま

でどおりでいいのか、変えていく必要があるのか等、今後の活動を見直す年にできればと考えております。1日にも早く元のような自由に往来できる世界に戻り、子供たちの笑顔を皆様に直接ご報告できる日が来る日を心待ちにしています。本年も引き続きご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

会長 西川 弘達

もくじ

1、活動一覧	2ページ
2、建設プログラム	3ページ
3、奨学金プログラム	3ページ
4、すみれ基金	4ページ
5、山岳少数民族支援	5ページ
6、ランチプログラム	5ページ
7、図書支援	5ページ
8、カンボジア緊急支援	6ページ
9、国内活動	6ページ
10、会計報告	7ページ
11、理事運営委員紹介	8ページ
12、ご寄付のお願い	8ページ
13、会員募集と継続のお願い	8ページ

1、活動カレンダー（法人第6期） 2020年2月1日～2021年1月31日

日付	内 容	場 所	プログラム
2月1日(土)	ボランティア入門講座	名古屋北社協	運 営
2月17日(土)	カンボジア、タイ 視察、給食支援(3月8日帰国)	カンボジア、タイ	運 営
3月8日(日)	運営委員会・理事会	事務所	運 営
4月12日(日)	総会	事務所	運 営
7月18日(土)	運営委員会	事務所	運 営
8月29日(土)	運営委員会	事務所	運 営
9月16日(水)	NGO オンリーワン戦略講座(オンライン)	オンライン	運 営
9月27日(日)	翻訳会	事務所	奨学金
10月4日(日)	愛知大学学生インタビュー	事務所	運 営
10月25日(日)	翻訳会	事務所	奨学金
10月26日(月)	NGO オンリーワン戦略講座東京研修 1泊2日	JICA 東京	運 営
10月30日(金)	国際協カカレッジ打合せ(オンライン)	オンライン	運 営
11月28日(土)	NGO オンリーワン戦略講座(団体個別訪問)	国際センター	運 営
12月5日(土)	運営委員会 奨学金資料発送作業	事務所	運 営
12月14日(月)	NPO イーパーツ報告会(オンライン)	オンライン	運 営
12月19日(土)	国際協カカレッジ(オンライン)	オンライン	運 営
1月9日(土)	NGO オンリーワン戦略講座(オンライン)	オンライン	運 営
1月23日(土)	NGO オンリーワン戦略講座(オンライン)	オンライン	運 営
1月30日(土)	運営委員会(オンライン)	オンライン	運 営

活動予定(2021年度)

日付	内 容	場 所	プログラム
2月27日(土)	ステファニ・レナト賞奨励賞授賞式	ウイルあいち	運 営
3月6日(土)	会計監査	事務所	会 計
3月27日(土)	NGO オンリーワン戦略講座(オンライン)	オンライン	運 営
3月28日(日)	総会	オンライン	運 営
4月	第1回理事会	事務所	運 営
4月14・15日	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修1	オンライン	運 営
5月	運営委員会	事務所	運 営
5月18日(火)	名古屋千種ロータリークラブ例会 活動報告	名古屋東急ホテル	運 営
5月	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修2	オンライン	運 営
6月	運営委員会	事務所	運 営
6月23・24日	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修3	東京	運 営
7月	第2回理事会	事務所	運 営
7月	奨学金授与式ツアー(未定)	タイ・カンボジア	奨学金
8月	運営委員会	事務所	運 営
8月	愛知大学学生ボランティアツアー(未定)	タイ	山 岳
8月	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修4	オンライン	運 営
9月	運営委員会	事務所	運 営
9月	翻訳会	事務所	奨学金
9月1・2日	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修5	オンライン	運 営
10月	翻訳会	事務所	奨学金
10月	第3回理事会	事務所	運 営
10月	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修6	オンライン	運 営
11月	運営委員会	事務所	運 営
12月	運営委員会	事務所	運 営
12月1・2日	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修7	オンライン	運 営
1月	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修8	オンライン	運 営
1月	第4回理事会	事務所	運 営
2022年度			
2月	運営委員会	事務所	運 営
3月	運営委員会 総会	事務所	運 営
3月2・3日	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修9	オンライン	運 営
4月	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修10	オンライン	運 営
8月3・4日	NGOによる住民主体型プロジェクト 研修11	オンライン	運 営

※運営委員会は毎月第4土曜に開催予定

2、建設プログラム

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の為、建設プログラムは実施されませんでした。
 2021年度は、引き続きタイ北部山岳部やカンボジアでの建設事業の実施を目指していきます。
 今年度、建設プログラムへの指定寄付は、次年度以降の事業へ繰り越させていただきます。

3、奨学金プログラム

タイ奨学金プログラム

2020年度は、新型コロナウイルスの影響でタイでの授与式が実施できなかった為、全ての学生へ送金により支援しました。今年度から支援金額を5,000バーツにする予定でしたがコロナの影響で学校や学生との連絡に手間取り前半の3,000バーツは支援できましたが、後半の2,000バーツの支援ができませんでした。ご支援頂いた皆様にお詫びすると共に報告致します。

高校生・専門学校生への支援に移行するため新規中学生は募集せず、中学2年～専門学校生までの74名を支援いたしました。昨年度からの繰越金3万円と今年度12月3日現在皆様からご寄付頂いた金額54万円と、不足した17万円は「指定なし寄付金」を充当させていただきました。

なおその後にご寄付を頂きました4万円を次年度に繰越させていただきました。

奨学生の内訳（カッコ内は昨年比）

ヤソトーン県	… 0名 (-2)	ムクダハーン県	… 19名 (-1)
ナコンパノム県	… 10名 (-2)	カラシン県	… 13名 (-6)
マハサラカーム県	… 17名 (±0)	ロイエット県	… 15名 (-3)

今年度の支援見込みは昨年度の87名から5～6名減の82名程でしたが、全体では昨年から13名の減少の74名となりました。

- 申請書類、手紙の翻訳

昨年に続き愛知県に在住のタイ人と日本人の協力で9月から事務所にて翻訳会を実施し、翻訳した申請書類や手紙は12月にドナーの皆様にお送りいたしました。

- クリスマス&年賀カードの送付

今年も12月中旬に奨学生74名全員にカードを発送しました。

できれば皆様から直接お送り頂ければ奨学生の喜びも倍増するのですが、今年も事務局から発送しました。

桜の便り、紅葉や雪景色はタイの人たちにとっては「憧れの風景」ですので皆様からのお便りを奨学生はもちろんその家族まで喜んでくれると思いますので、お待ちしております。(事務局へお送り頂きますればタイ語に翻訳して奨学生に送ります)



カンボジア奨学金プログラム

本年度は、昨年からの継続奨学生（小学2年生）10名と新規奨学生（小学1年生）10名の合計20名の子ども達へ80ドルずつ、計1,600ドルの支援を行いました。

本来なら、タイでの奨学金授与式と一緒に現地で授与式を行う予定でしたが、海外渡航ができなかったため、

こちら、現地教育委員会のアンさんへ送金し、授与式を実施して頂きました。



4、すみれ基金（大学生奨学金）

2020年の大学生奨学金は、以下の4名の奨学金支援を実施しました。

	パーソナルデータ	支援金額
1	Saengsuk Nansri (男) タイ国籍を取りたくてずっと頑張ってきましたが、めどが全く立ちませんでした。 タイで就職することを考えて、ミャンマー国籍を取ることにしました。2019年7月からミャンマー国籍の Mr. Than Tun になりました。2020年10月に Maefaluang 大会計学を卒業し、12月から実習した会社（農作物加工品輸出会社）にそのまま就職しました。現在バンコクで勤務しています。	18,802 バーツ
2	Ratchanee Churmue (女) 2020年6月に Chiangmai 大学の1年間の歯科助手コースを卒業し、すぐにバンコクの歯科医院（クリニック）に就職しました。	25,000 バーツ
3	Passakorn Rattanil (男) Rajabhat Surin 大学教育学部在学中。2020年度は1年間の教育実習。卒業した学校で勤務。音楽の専攻なので、音楽の先生になり、写真も得意ので学校のカメラマンにもなっています。2021年5月に卒業する予定です。	14,700 バーツ
4	Orathai Muelae (女) Maefaluang 大学看護学部2年生。2023年7月に卒業する予定です。	30,000 バーツ
	合計	88,502 バーツ



写真左：
2、ラッチャニーさん
写真右：
1、センスック君
二人とも、高校卒業まで「カサロンの家」で暮らしていました。センスック君はミャンマー国籍です。ラッチャニーさんも山岳少数民族出身です。

5、山岳部少数民族支援プログラム

例年なら、愛知大学の学生を連れて、山岳少数民族の子ども達のための学生寮「カサロンの家」を訪問し、支援も行ってきましたが、今年度は、ツアー自体が中止となり、「カサロンの家」への支援はできませんでした。

2021年の8月にはツアーが実施できることを願っています。

6、ランチプログラム

2020年度のランチプログラムは、山岳少数民族の子ども達のための学生寮「カサロンの家」への米購入金支援（4万バーツ）を行いました。

2020年2月に寮を訪問した際に支援金を手渡し、その後、米を購入した報告写真を頂きました。



「カサロンの家」では、自分たちで米も栽培していますが、姉妹寮の「希望の家」と合わせると1日で役10キロの米を消費し、自給自足には程遠い状況です。子ども達のためには、年間3トン以上の米を必要としますが、4万バーツ（約15万円）の支援で約2.5トンの米を購入することができ、寮での年間の米消費量の半分以上を賄うことができます。

- 「カサロンの家」の牛プロジェクトの経過報告です。
2018年に購入した子牛2頭（32,000バーツ）が、
2019年に子牛を2頭産み、大きくなった牛2頭は
34,000バーツで売却しました。現在、2頭の牛を引き
続き肥育中です。



7、図書支援プログラム

2019年度、富山県射水市で開催された「おおしま手作り絵本コンクール」に出品した絵本が入賞しましたので、その賞状や記念品を2020年度にタイへ発送しました。本来ならタイで行われる奨学金授与式の時に贈呈式を行う予定でしたが、海外渡航ができなかったため、海外発送で対応しました。

2020年度は同コンクールへの出品はできませんでした。



8、カンボジア緊急支援プログラム

コロナ禍で収入源を絶たれてしまったカンボジアの貧困家庭を救済するため、4月にスタッフ有志で寄付金を集め、計6万円で3か月間の支援を実施しました。追加支援の寄付をネットワーク通信で募ったところ、6万円弱の寄付金が寄せられましたので、7月～9月の3か月間の緊急支援を実施しようとしたのですが、支援地域の洪水や現地協力者が出稼ぎで支援地を離れてしまったため、緊急支援金の送金を断念しました。現地の状況や支援方法の妥当性を見極め、支援実施可能なタイミングになりましたら、支援を再開したいと考えます。よって、今年度のカンボジア緊急支援への指定寄付金は、来年度へ繰越させていただきます。ご了承下さい。

9、国内活動

○NGOオンリーワン戦略講座受講

「NGOの経営(組織経営)とブランディングによる組織力強化研修」(シェア・ザ・プラネット主催)を2020年4月から受講開始しました。主にオンライン(ZOOM)での講座になりますが、講座を進めるうちにキャンヘルプタイランドという組織が抱える問題点などが浮き彫りとなり、会の今後のために緊急な組織改革の必要性を感じました。2021年度は、今までの活動を振り返り、会のこれからの5年10年先を見据えた組織強化と事業改革を行って行きたいと思えます。

また、この講座の続きとして、2021年度もJICAの「NGOによる住民主体型プロジェクト形成・実施のための方法論と技能の研修」(ムラのミライ主催)をスタッフ数名で受講します。

○国際協力カレッジ(名古屋国際センター)

毎年12月に名古屋NGOセンター主催で行われる「国際協力カレッジ2020」に今年も参加しました。例年ならJICA中部で開催されるイベントですが、今年はオンラインでの開催となりました。当会の活動に興味を持ってくれた2名の方が、個別のブレイクアウトルームを訪問してくれました。今後の運営スタッフへの参加を期待したいです。

○物品販売(愛知大学)

コロナ禍で中止が相次いだ国内イベントで販売予定だった雑貨を、愛知大学内で学生ボランティアさんに販売してもらいました。

今年度は、大学主催のタイボランティアツアーを実施できなかったため、2021年こそは、ツアーの復活を願っています。



10、会計報告（2020年度）

活動計算書

2020年2月1日～2021年1月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
会員受取会費	78,000	78,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	1,399,700	1,399,700
3. 受取助成金等		
受取公的助成金	1,014,000	1,014,000
4. その他収益		
受取利息	16,851	
雑収益	109	16,960
経常収益計		2,508,660
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)その他経費		
タイ奨学金事業	1,153,455	
タイ給食事業	139,600	
カンボジア奨学金事業	185,220	
為替差損	170,284	
その他経費計	1,648,559	
事業費計		1,648,559
2. 管理費		
(1)その他経費		
諸会費	10,000	
印刷製本費	7,050	
通信運搬費	52,352	
消耗品費	3,230	
水道光熱費	6,940	
賃借料	90,500	
支払手数料	3,567	
業務委託費	11,644	
その他経費計	185,283	
管理費計		185,283
経常費用計		1,833,842
当期正味財産増減額		674,818
前期繰越正味財産額		15,194,412
次期繰越正味財産額		15,869,230

貸借対照表

2020年2月1日～2021年1月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	15,869,230	
流動資産合計		15,869,230
2. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		15,869,230
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	15,194,412	
当期正味財産増減額	674,818	
正味財産合計		15,869,230
負債及び正味財産合計		15,869,230

久保卓巳より 2021年3月6日に監査を受け承認されました。

11、2021年度の運営委員と理事の紹介

今年度は、特定非営利活動法人キャンヘルプタイランドとして以下のような体制で運営いたします。

引き続き運営委員の募集を行っていますので、興味のある方は是非ご参加ください。

運営委員	西川 弘達（理事長）	大矢 治夫	大矢 まゆ美（理事）
	坂 茂樹（副理事長）	松本 康裕（理事）	内田 由布子
	新實 佳奈	寺島 優美	横江 隆弘

12、ご寄付のお願い

各プログラムへのご寄付を広く募集します。ご協力くださる方は、同封の振込用紙もしくは郵便局に備え付けの振込用紙を使用いただき、必要事項及びご寄付を希望のプログラム名（寄付金の使途）を記入してお振込み下さい。銀行振込の場合で寄付金の使途を指定される場合は、別途、葉書かお電話、Eメール等でご連絡をお願いします。尚、寄付金の使途をご指定にならない場合は、こちらで振り分けさせていただきますのであらかじめご了承ください。

奨学金プログラム	1口	10,000円
ランチプログラム	1口	5,000円
建設プログラム	1口	5,000円
図書支援プログラム	1口	1,000円
山岳民族支援プログラム	1口	10,000円
カンボジア支援プログラム	1口	5,000円
運営基金	1口	1,000円
会費※	1年	3,000円

※ 会員制度とは…

会員になっていただいた方には、年2回「ネットワーク通信」をお送りし、キャンヘルプタイランドの活動やイベント情報、タイにまつわるいろいろな情報をお伝えしていきます。年1回、会費3,000円をお振込みください。

寄付金・会費のお振込みは…

<郵便振替口座>

口座名：NPO キャンヘルプタイランド 番号：00280-2-43793

13、会員募集と継続のお願い

キャンヘルプタイランドでは、会の運営を円滑にするために運営費を支えていただける「会員」を募集しています。多くのNPOが寄付金の15～30%もの運営経費で運営されているのに対して、私たちは、わずか5%の経費しか計上していません。従って会員の皆さんの会費（年額3,000円）で運営費の不足分を補っているのが現実です。会員の皆さんには年2回の「ネットワーク通信」で活動の詳細をお伝えすると共に、各種行事のご案内もいたします。皆様のご協力をお待ちしております。

お問い合わせ先

住所：〒450-0001

愛知県名古屋市中村区那古野 1-44-17 嶋田ビル 203

キャンヘルプタイランド事務局

TEL&FAX：052-566-5131

（事務所開設時間不定期 来所の事前予約必要）

Eメール：office@canhelp.jp

URL：http://www.canhelp.npo-jp.net

特定非営利活動法人

キャンヘルプタイランド会報

Vol.6

ネットワーク通信 Vol.90 合併号

発行：NPOキャンヘルプタイランド

発行人：西川 弘達

編集人：坂 茂樹

発行日：2021年3月